

現代総有研究所 2022年度公開研究会 第一回

タイトル スイスの総有から学ぶ

スイスの森林管理（総有）及び都市建築行政への市民関与（団体訴訟権、レファレンダム）

講師

木村 浩之

建築家、京都工芸繊維大学特任教授、まちむらスタジオ。スイス連邦工科大学(ETH ローザンヌ)留学。1999年よりディーナー&ディーナー建築設計事務所勤務(スイス・バーゼル)。「イタリア国立近代美術館増築(ローマ)」「ユダヤ資料館(パリ郊外)」「スイス再保険会社本社屋(チューリヒ)」などを担当。

現代総有研究所会員

スイスは、九州ほどの面積に2596のゲマインデ（コミューン）と呼ばれる自治体がある直接民主的な意思決定の国であり、伝統的な仕組みも生かされています。スイスでの総有的土地管理の歴史も豊かです。「OAK Schwyz」という伝統的な総有主体は、約20000人のメンバーからなり、森林の保全と管理、木材生産、リクリエーション事業を展開しています。OAKは、1291年に設立されスイス連邦よりも古い歴史があり、管理される森林面積は9000ヘクタールを超え、スイスで最大の非政府森林所有者でもあります。この伝統的な総有体の意義と仕組みを学びたいと思います。

合わせて、スイスの直接民主主義による都市建築行政への市民の直接参加、レファレンダムの意義と手法、事例についても学びます。明治神宮外苑の再開発問題等、昨今の日本での都市再開発行政における市民の役割・権利をどう発展させ、都市空間をコモングッド（共通善）の空間として再生させるための展望について考えたいと思います。

日時 2022年7月23日（土）午後5時～6時半

ZOOM 下記です。

<https://us02web.zoom.us/j/88332065533?pwd=ajRjLytoYWVhYTB2M1RibElOdTc4dz09>

ミーティング ID: 883 3206 5533

パスコード: 284396

司会進行 糸長浩司（現代総有研究所会員、NPO 法人エコロジー・アーキスケープ理事長）

参加費 無料（会員外も参加可能）

事前申し込み

締め切り 7月21日（木）

宛先 糸長浩司 itonagakoji@outlook.jp